

「武器移転」について話し合う河合さん(左)と山田さん(右)＝松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校で

## 松本秀峰中教員 河合さん、山田さん

# 「模擬国連大会」で全国へ

国連の国際会議を想定して、国際問題などを議論する「第十二回全日本高校模擬国連大会」が、東京都渋谷区の国連大学本部で十七日から二日間行われ、松本秀峰中等教育学校(松本市埋橋)の高校二年、河合輝さん(左)と山田真緒さん(右)が出席する。同校からの出場は二〇一五年に続き二回目。(北村祥之)



## きょうから「武器移転」テーマに議論

今回のテーマは「武器移転」。機密情報として情報が公開されていない場合も多いため、担当国の立場を理解するの十分な情報を得るのが難しいことや、議論する上で、異なる立場の国の意見も踏まえて合意形成することがポイントとなる。

事前の書類審査では、地球の水問題に関する日本語の課題図書「要約や意見論述」、「意見の対立と協調」についての英語でのエッセイ問題が課された。全国二百五十五チームの応募があり、八十六チーム百七十二人が出場する。

将来国際的な機関で働き、世界の問題解決の力になりたいと話す河合さんは「全国の高校生と国際的な問題について議論を交わすことで、国際的な視野や考え方を学びたい」と意気込みを語った。

山田さんは、米国で二週間の語学研修やフィリピンでの二週間のボランティア活動を通して、世界の貧しい子どもたちや苦しんでいる人々を助けたいと言い、「模擬国連を通して自分とは違う価値観を持つ人と交流することで、新しい知識や考え方を自分のものにして、将来に生かしたい」と話した。